

週刊 タバコの正体

タバコには、4000種類の化学物質、200種類以上の有害物質、60種類以上の発ガン物質が含まれています。人々の健康や命を尊重すれば、そんな有害なものが公然と販売されている事がおかしいのですが、コーヒー等と同じ「嗜好品^{しこうひん}」として世界じゅうに浸透してしまった歴史があるので、タバコを販売していない国は、販売を禁止する法律が制定されているブータン王国ただ一国だけです。

			各種施設					公共交通機関／自家用車					公共的施設						
			官公庁	医療施設	教育施設	大学	一般企業	業務用車両	飛行機	列車	フェリー	路面電車	バス	タクシー	自家用車	文化施設	ショッピングセンター	パブ・バー	ナイトクラブ
G8	イギリス	国法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	ドイツ	国法・州法	○	○	△	△	△	○	○	○	△	○	○	×	△	△	△	△	△
	カナダ	国法・州法	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
	フランス	国法	○	○	○	△	△	△	○	○	△	○	○	×	△	△	△	△	△
	イタリア	国法	△	○	△	△	△	×	○	○	○	○	○	-	△	△	△	△	△
	アメリカ (52州)	州法	38				34							5		30	28		34
	ロシア	国法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2014年6月 全面禁煙		
日本	なし	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
G20	韓国	国法・州法	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	△	×	△
	中国	国法	△	○	○	-	△	△	○	△	-	○	△	-	△	-	×	×	△
	オーストラリア	国法・州法	○	○	○	○	△	-	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
	ブラジル	国法・州法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	△	△	△	△	△
	インド	国法・州法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	△
他	アイルランド	国法	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	-	○	○	○	○	○
	ニュージーランド	国法	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	トルコ	国法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

WHO が実施した各国の担当者に対する FCTC の実施状況調査より作表：[○] 完全禁煙 [△] 一部禁煙 [×] 規制なし [-] 無し
厚生労働省「e-ヘルスネット」サイトから

じつは、タバコの販売を禁止しているのはブータン王国だけですが、上の表にあるように主要先進国の大半は喫煙を禁止する法律を制定しています。この表は2012年時点の「受動喫煙防止法」の施行状況をまとめたものですが、公共施設や交通機関はもちろん、自家用車のなかでも禁煙としている国さえあります。

残念ながら日本には「受動喫煙防止法」がないので、×(規制なし)が並んでいるわけです。だから一見“禁煙”の公共施設や交通機関でも、目立たない所に喫煙スペースが設置されているケースが多く、このような施設は、○(完全禁煙)とは言えませんよね。

前回、日本はタバコが安い事を知ってもらいましたが、こんな面でもタバコ対策が遅れている事を知っておいてください。

産業デザイン科 奥田 恭久